

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2015年8月下旬から9月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年5月下旬から6月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのご参照ください。</p>	-	<p>九州においては、6月の降水量が平年の227%におよぶなど天候不順が目立った南九州において、個人消費が特に不調だった。一方、半導体や同製造装置が好調で輸出額が伸びている。7~9月期は、政策効果に支えられてプラス成長になると見込まれる。プレミアム付商品券によって個人消費や、省エネ住宅ポイントや贈与税の非課税枠拡大によって住宅投資が押し上げられるだろう。九州・沖縄の住宅着工は、6月に前年比28.1%増と大幅に増加している。ただ、中国の景気後退やそれを受けた金融市場の混乱など、足下では不安要素が増えており、先行きについては不透明感が増している。</p>
デフレ脱却・経済再生を確実にするための取組			
2-1	<p>(別紙5)の1.(1)のとおり、経済財政諮問会議ではデフレからの脱却、経済の好循環の拡大に向けた取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入ください。</p>	-	<p>九州でも有効求人倍率が上昇し、給与水準も改善しているが、九州の労働者数は昨年5月以降、減少し続けている。九州は域内人口移動割合が首都圏に次いで高く、福岡が首都圏への人口流出を歯止めする役割を果たしている。しかし、その「ダム効果」も徐々に弱まりつつある。九州の若者を地域に定着させ、大都市圏から呼び戻すために、地域に魅力ある職場を創出するとともに、就職応援フェアやインターンシップ等を通じて、若者に地場企業の情報的確にかつ効果的に伝える取組を強化・加速すべきである。</p>
2-2	<p>また、(別紙5)の1.(2)のとおり、経済財政諮問会議では我が国経済の潜在的な成長力の強化について取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入をお願いいたします。</p>	-	